

注3

大学番号：069

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

香川大学大学院 医学系研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 香川大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 医学部総務課

職名・氏名 課長補佐 ヨコガワ トシコ 横川 利子

電話番号 087-891-2007

（夜間） 087-891-2007

F A X 087-891-2016

e-mail mdsokh@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

香川大学大学院医学系研究科

<医学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 香川大学

(2) 大学名

香川大学大学院

(3) 大学の位置

〒761-0793
香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1
(〒760-8521
香川県高松市幸町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナガオ セイゴ) 長尾 省吾 (平成23年10月)		
理事	(フジイ ヒロシ) 藤井 宏史 (平成25年10月)		
研究科長	(イマイダ カツミ) 今井田 克己 (平成26年 4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
医学系研究科 医学専攻(博士課程) 博士(医学)	医学関係	4年	30人	120人	基礎となる学部等 医学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	30人	人	30人	人			0.98倍	
	()	()	()	()	()	()				
	[]	[]	[]	[]	[]	[]				
志願者数	-	-	36	-	23	-				
	()	()	(21)	()	(15)	()				
	[]	[]	[5]	[]	[1]	[]				
受験者数	-	-	36	-	23	-				
	()	()	(21)	()	(15)	()				
	[]	[]	[5]	[]	[1]	[]				
合格者数	-	-	36	-	23	-				
	()	()	(21)	()	(15)	()				
	[]	[]	[5]	[]	[1]	[]				
B 入学者数	-	-	36	-	23	-				
	()	()	(21)	()	(15)	()				
	[]	[]	[5]	[]	[1]	[]				
入学定員超過率 B/A	1.20				0.76					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	36 [5] (-)	- [-] (-)	23 [1] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	36 [5] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計	- [-] (-)	36 [5] (-)			59 [6] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<大学院医学系研究科 医学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医科学概論	1前	2			11	3				辞任により担当教員減(29) ※平成29年5月現在選考中	
	医科学特論	1前	2			16	9					
	希少糖科学特論	1後	1			2	1					
	研究・生命倫理	1前	1			2						
専門科目	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース ライフサイエンス科目群	希少糖の機能	1・2通		4		1	1				
		発達神経科学	1・2通		4		2					
		分子形態学特論	1・2通		2		1	1				
		組織細胞科学特論	1・2通		4		1	1				
		神経細胞生物学特論	1・2通		4		1	1				
		神経生理学	1・2通		4		1	1				
		呼吸循環生理学	1・2通 未開講		4		1	1				履修希望者がいなかったため(28)
		循環生理シグナル伝達学	1・2通 未開講		4		1	1				履修希望者がいなかったため(28)
		薬理学特論	1・2通		4		1	1				
		脂質生物学	1・2通 未開講		4		1	1				履修希望者がいなかったため(28)
		酵素学実験法	1・2通 未開講		4		1	1				履修希望者がいなかったため(28)
		医有用有機化学特論	1通 未開講		4		1					履修希望者がいなかったため(28)
		医用分析化学特論	2通		4		1					
		分子内分泌学	1・2通 未開講		4		1	1				履修希望者がいなかったため(28)
		核医学画像解析	1・2通		2			1				
		毒性病理学	1・2通		2		1	1			1	
		分子神経病理学	1・2通		4			2			1	
		免疫組織化学	1・2通		4		1				1	
		免疫制御学	1・2通		4		1					
		寄生虫学特論	1・2通 未開講		2				1			履修希望者がいなかったため(28)
		衛生動物学特論	1・2通 未開講		2				1			履修希望者がいなかったため(28)
		微生物ゲノム科学	1・2通		2			1				
		生活習慣病予防論	1・2通		2				1			
		臨床疫学	1前 未開講		1			1			1	履修希望者がいなかったため(28)
		生物統計学	1前		1			1			1	
		医療管理学	1後		1			1			1	
		健康危機管理論	2前		1			1			1	
		国際保健論	2後		1			1			1	
法医学特論	1・2通		2			1						
医学教育学特論	1・2通		2			1	1					
遺伝情報解析学	1・2通		4			1	1					
疾患ゲノム情報学	1・2通		4			1	1					
生体分子立体構造学	1・2通 未開講		2			1	1			履修希望者がいなかったため(28)		
実験動物学・動物遺伝学	1・2通 未開講		2				1			履修希望者がいなかったため(28)		
糖鎖構造解析	1・2通 未開講		2				1			履修希望者がいなかったため(28)		

専門科目	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	トランスレーショナルリサーチ科目群	希少糖と生活習慣病	1・2通	2	1	1				
			バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2	1	1				
			中耳・内耳バイオイメージング	2通 未開講	2	1	1			履修希望者がいなかったため(28)	
			形成外科におけるバイオイメージング	2通	2	1	1				
			細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	1・2通	4	1	1				
			生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通	4	1	1				
			iPS細胞の応用	1・2通	2	1	1				
			糖鎖情報と臨床応用	1・2通 未開講	4	1	1			履修希望者がいなかったため(28)	
			発がん機構	1・2通	2	1	1				
			免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4	1					
			微生物共生システムと応用	1・2通	2	1					
			健康測定・アセスメント	1・2通	2		1				
			医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1	1		1			
			医療政策論	1後	1	1			1		
			死因究明技術の開発	1・2通	2	1					
			タンパク質分子設計	1・2通	2	1	1				
			精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4	1	1				
			臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前 未開講	1	1				履修希望者がいなかったため(28)	
			臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後 未開講	1	1				履修希望者がいなかったため(28)	
			睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	1・2通 未開講	4	1	1	1		履修希望者がいなかったため(28)	
			認知症診断の技術研究	1・2通 未開講	4	1	1	1		履修希望者がいなかったため(28)	
			脂質異常症と心血管病	1・2通	4	1	1				
			食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1・2通	2	1	1				
			周産期の脳発達と子供の健康	1通	4	2					
			高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2	1	1				
			近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2	1	1				
			骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1・2通	4	1	1				
			前立腺がんの新規マーカーの開発	1通 未開講	2	1				履修希望者がいなかったため(28)	
			低侵襲手術術式の開発	2通 未開講	2	1				履修希望者がいなかったため(28)	
			癌とマイクロRNA	1通	2	1	1				
			癌と遺伝子異常	2通	2	1	1				
			分子イメージングの臨床応用	1・2通	4	1	1				
			動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4	1	1				
病理診断学の臨床応用	1・2通	4		1							
神経保護薬の臨床開発	1・2通	4	0	1			担当教員辞任のため(29) ※H29年5月現在選考中				
医工融合による医療機器開発	1・2通	1	1	1							
救急・生体侵襲制御	1・2通	2	1								
臨床栄養・微生物学	1・2通	4		1			教育課程の充実のため、科目を追加(29)				
高度医療人育成コース	臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群	希少糖医学	1前	1	1						
		地域医療学	1後	1	1	+		記載に過誤があったため(29)			
		高齢者医療学	1前	1		1					
		医療倫理	1前	1	2						
		生活習慣病学	1後	1	1						
		災害医療・災害医学	1後	1	1						
		神経病学	1・2通	2	1	2					
		脳神経外科学	1・2通 未開講	2	1	1		履修希望者がいなかったため(28)			
		運動器病学	1・2通 未開講	2	1	1		履修希望者がいなかったため(28)			
		精神病学	1・2通	4	1	1					
		腎・泌尿器病学	1・2通	4	2	1					
		感染症学	1・2通	2	1						
		血液病学(血液・造血器・リンパ)	1・2通	2	2						
		免疫・アレルギー疾患学	1・2通	2	1						
		呼吸器病学	1・2通	4	2		1				
乳腺内分泌外科学	1・2通	2		1							
消化器病学	1・2通	2	2	1							

(3) 未開講科目〔該当なし〕

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目〔該当なし〕

番号	授業科目名		配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{123} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計						
	校舎敷地	165,905㎡	0㎡	0㎡	165,905㎡						
	運動場用地	80,981㎡	0㎡	0㎡	80,981㎡						
	小 計	246,886㎡	0㎡	0㎡	246,886㎡						
	そ の 他	701,682㎡	0㎡	0㎡	701,682㎡						
	合 計	948,568㎡	0㎡	0㎡	948,568㎡						
(2) 校舎		専 用 (㎡)	共 用 (㎡)	共用する他の学校等の専用 (㎡)	計 (㎡)						
(3) 教室等	講義室	2 室	演習室	9 室	実験実習室	40 室	情報処理学習施設	2 室 (補助職員 0 人)	語学学習施設	0 室 (補助職員 0 人)	
	(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 医学系研究科 医学専攻 (博士課程)			室 数 86 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体		
		医学系研究科 医学専攻	862,956 [267,884] (862,956 [267,884])	22,992 [7,010] (22,992 [7,010])	5,357 [4,155] (5,357 [4,155])	10,203 (10,203)	0 ()	1,033 (1,033)			
		計	862,956 [267,884] (862,956 [267,884])	22,992 [7,010] (22,992 [7,010])	5,357 [4,155] (5,357 [4,155])	10,203 (10,203)	0 ()	1,033 (1,033)			
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	11,506㎡		936席		1,098,194冊						
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体					
	5,571㎡		運動場 5面		テニスコート 14面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円			
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円			
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次				
		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 29 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	香川大学							備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
教育学部										
学校教育教員養成課程	4	160	-	610 580	学士 (教育学)	1.02	平成15年度	高松市幸町1番1号		
人間発達環境課程	4	40	-	190 220	学士 (教養学)	1.04 1.00	平成15年度	同上		
法学部			3年次						上段は昼間コース、下段は、夜間主コース	
(昼夜開講制)								高松市幸町2番1号		
法学科(昼)	4	150	10	620	学士 (法学)	1.07 1.06	平成15年度	同上		
(夜)		10	-	40		0.62 0.67	平成15年度	同上		
経済学部			3年次						上段は昼間コース、下段は、夜間主コース	
(昼夜開講制)										
経済学科										
(昼)	4	100	7	414	学士 (経済学)	1.00 1.02	平成15年度	高松市幸町2番1号		
(夜)		6	-	24		0.20 0.33	平成15年度	同上		
経営システム学科										
(昼)	4	105	8	436		1.06	平成15年度	同上		
(夜)		8	-	32		0.56	平成15年度	同上		
地域社会システム学科										
(昼)	4	75	5	310		1.05	平成15年度	同上		
(夜)		6	-	24		0.79 0.87	平成15年度	同上		
医学部			2年次							
医学科	6	109	5	678 676	学士 (医学)	1.00	平成15年度	木田郡三木町大字池戸1750番地1	平成21・22・24・25年度入学定員増による学年進行	
看護学科	4	60	10	260	学士 (看護学)	1.01 1.00	平成15年度	同上		
工学部			3年次							
安全システム建設工学科	4	60	20	240	学士 (工学)	1.04	平成15年度	高松市林町2217番地20	平成24年より学生募集停止	
信頼性情報システム工学科	4	-		-	-		-	平成15年度		同上
電子・情報工学科	4	80		320		1.03 1.02	平成15年度	同上		
知能機械システム工学科	4	60		240		1.07	平成15年度	同上		
材料創造工学科	4	60		240		1.04	平成15年度	同上		

大学の名称	香川大学							備考	
農学部 応用生物科学科	4	150	-	600	学士 (農学)	1.03 1.04	平成18年度	木田郡三木町大字池戸2393番地	
教育学研究科 修士課程									
学校教育専攻	2	12	-	24 18	修士 (教育学)	0.70 1.16	平成15年度	高松市幸町1番1号	平成29年3月31日廃止(29) 平成28年度より学生募集停止
特別支援教育専攻	2及び1	=	=	=		=	平成20年度	同上	
教科教育専攻	2	18	-	36 45		0.58 0.61	平成15年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	14 16		0.78 0.85	平成15年度	同上	
専門職学位課程 高度教職実践専攻	2	14	-	28 14	教職修士 (専門職)	0.99 1.07	平成28年度	同上	
法学研究科 修士課程									
法律学専攻	2	8	-	16	修士 (法学)	0.50 0.37	平成15年度	高松市幸町2番1号	
経済学研究科 修士課程									
経済学専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.90	平成15年度	高松市幸町2番1号	
医学系研究科 修士課程									
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.68 0.49	平成15年度	木田郡三木町大字池戸1750番地1	
博士課程									
機能構築医学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	平成15年度	同上	平成28年度より学生募集停止
分子情報制御医学専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年度より学生募集停止
社会環境病態医学専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年度より学生募集停止
医学専攻	4	30	-	60 30		0.98 1.20	平成28年度	同上	平成28年度より学生募集開始
工学研究科 博士前期課程									
安全システム建設工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	0.94 0.88	平成15年度	高松市林町2217番地20	
信頼性情報システム工学専攻	2	24	-	48		1.35 1.33	平成15年度	同上	
知能機械システム工学専攻	2	18	-	36		1.61 1.58	平成15年度	同上	
材料創造工学専攻	2	18	-	36		1.69 1.41	平成15年度	同上	
博士後期課程									
安全システム建設工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.20 0.13	平成16年度	同上	
信頼性情報システム工学専攻	3	7	-	21		0.09 0.04	平成16年度	同上	
知能機械システム工学専攻	3	5	-	15		0.40 0.60	平成16年度	同上	
材料創造工学専攻	3	5	-	15		0.33 0.46	平成16年度	同上	

大学の名称	香川大学							備考
農学研究科								
修士課程								
生物資源生産学専攻	2	25	-	50	修士 (農学)	0.48 0.34	平成18年度	木田郡三木町大字池戸2393番地
生物資源利用学専攻	2	25	-	50		1.36 1.24	平成18年度	同上
希少糖科学専攻	2	10	-	20		0.65	平成18年度	同上
地域マネジメント研究科								
専門職学位課程								
地域マネジメント専攻	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	1.01 1.13	平成16年度	高松市幸町2番1号
香川大学・愛媛大学 連合法務研究科								
専門職学位課程								
法務専攻	3	=	=	=	法務博士 (専門職)	=	平成16年度	高松市幸町2番1号 平成29年3月31日廃止(29) 平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院医学系研究科 医学専攻（博士課程）>

平成29年3月31日までに辞任した教員
 平成31年3月31日までに退職予定の教員

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	三木 崇範	平成28年4月1日	医科学概論 医科学特論 研究・生命倫理 発達神経科学 分子神経病理学 周産期の脳発達と子供の健康 医療倫理 医療倫理学・医療経済学 課題研究							
専	教授	荒木 伸一	平成28年4月1日	医科学特論 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用 課題研究							
専	准教授	三宅 克也	平成28年4月1日	分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用	専	准教授	横平 政直	平成28年4月1日	分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用	平成29年3月31日三宅克也准教授辞任(未就任)のため担当教員の変更(28) 平成28年2月 教員審査済(28) ※計画中の専任教員の担当科目追加	
専	教授	徳田 雅明	平成28年4月1日	医科学概論 医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病 課題研究						平成30年3月31日 退職(定年)予定 平成29年6月から専任教員採用のため公募予定	
専	准教授	山口 文徳	平成28年4月1日	医科学特論 希少糖科学特論 希少糖の機能 神経生理学 希少糖と生活習慣病							
専	教授	平野 勝也	平成28年4月1日	医科学特論 呼吸循環生理学 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ 課題研究							
専	准教授	五十嵐 淳介	平成28年4月1日	医科学特論 循環生理シグナル伝達学 細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	専	准教授	中北 慎一	平成28年4月1日	医科学特論	平成29年3月31日五十嵐淳介准教授辞任のため担当教員の変更(29) 平成29年2月 教員審査済(29) ※計画中の専任教員の担当科目追加	
					専	准教授	野間 貴久	平成28年4月1日	循環生理シグナル伝達学		
					専	准教授	西 望	平成28年4月1日	細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ		
専	教授	上田 夏生	平成28年4月1日	医科学特論 脂質生物学 酵素学実験法 課題研究							
専	准教授	大西 平	平成28年4月1日	脂質生物学 酵素学実験法							
専	教授	中村 隆範	平成28年4月1日	医科学概論 分子内分泌学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究							
専	教授	今井田 克己	平成28年4月1日	毒性病理学 発がん機構 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 課題研究						平成31年3月31日 退職(定年)予定 平成31年4月1日に専任教員を採用予定	
専	准教授	横平 政直	平成28年4月1日	毒性病理学 発がん機構	専	准教授	横平 政直	平成28年4月1日	毒性病理学 発がん機構 分子形態学特論 組織細胞科学特論 バイオイメージング技術の開発・応用	平成29年3月31日三宅克也准教授辞任(未就任)のため担当科目を追加(28) 平成28年2月 教員審査済(28)	
専	教授	上野 正樹	平成28年4月1日	医科学特論 分子神経病理学 免疫組織化学 課題研究							
専	講師	千葉 陽一	平成28年4月1日	分子神経病理学 免疫組織化学 検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学 治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療 臓器別がん治療各論	専	講師	串田 吉生	平成28年4月1日	検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学	指導体制充実のため担当教員の変更(28) 平成28年2月 教員審査済(28)	
					専	講師	山上 有紀	平成28年4月1日	治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療		指導体制充実のため担当教員の変更(28) 平成28年2月 教員審査済(28)
					専	講師	呉 哲彦	平成28年4月1日	臓器別がん治療各論		
専	教授	星野 克明	平成28年4月1日	医科学概論 医科学特論 免疫制御学 免疫機能を調整する薬剤の開発 課題研究							
専	准教授	新井 明治	平成28年4月1日	寄生虫学特論 衛生動物学特論 課題研究							

専	教授	西山 成	平成28年4月1日	医科学特論 研究・生命倫理 薬理学特論 生活習慣病診断・治療の前臨床 開発 iPS細胞の応用 腎・泌尿器病学 臨床研究論 がんのベーシックサイエンス、 臨床薬理学 課題研究						
専	教授	竹崎 直子	平成28年4月1日	医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 がん疫学論 課題研究						
専	准教授	岩間 久和	平成28年4月1日	医科学特論 遺伝情報解析学 疾患ゲノム情報学 課題研究						
専	教授	神鳥 成弘	平成28年4月1日	医科学特論 医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究						
専	准教授	吉田 裕美	平成28年4月1日	医科学特論 生体分子立体構造学 タンパク質分子設計 課題研究						
専	准教授	西 望	平成28年4月1日	医科学特論 医科学特論 分子内分必学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究	専	准教授	西 望	平成28年4月1日	医科学特論 医科学特論 分子内分必学 糖鎖情報と臨床応用 課題研究 細胞シグナル伝達学に基づくト ランスレーショナルリサーチ	平成30年3月31日 退職(定年) 予定 平成30年4月1日に専任教員を採用予定 平成29年3月31日五十嵐洋介准教授辞 任のため担当科目追加(29) 平成29年2月 教員審査済(29)
専	准教授	宮下 信泉	平成28年4月1日	医科学特論 神経細胞生物学特論 実験動物学・動物遺伝学 精神神経疾患の創薬科学 課題研究						
専	准教授	中北 慎一	平成28年4月1日	糖鎖構造解析 課題研究	専	准教授	中北 慎一	平成28年4月1日	糖鎖構造解析 課題研究 医科学特論	平成29年3月31日五十嵐洋介准教授辞 任のため担当科目追加(29) 平成29年2月 教員審査済(29)
専	教授	桑原 知巳	平成28年4月1日	微生物ゲノム科学 微生物共生システムと応用 課題研究						
専	准教授	宮武 伸行	平成28年4月1日	医科学特論 生活習慣病予防論 生活習慣病診断・治療の前臨床 開発 健康測定・アセスメント 医療統計学 課題研究						
専	教授	平尾 智広	平成28年4月1日	医科学特論 臨床疫学 生物統計学 医療管理学 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーアセス メント 医療政策論 医療倫理学・医療経済学 課題研究						
専	講師	依田 健志	平成28年4月1日	臨床疫学 生物統計学 医療管理学 健康危機管理論 国際保健論 医療経済・テクノロジーアセス メント 医療政策論 医療情報学(腫瘍学における情 報システム) 睡眠(終夜脳波システム)の臨 床開発 認知症診断の技術研究 治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療 臓器別がん治療各論	専	講師	安藤 延男・	平成28年4月1日	睡眠(終夜脳波システム)の臨 床開発 認知症診断の技術研究 治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療	指導体制充実のため担当教員の変更 (28) 平成28年2月 教員審査済(28) 指導体制充実のため担当教員の変更 (28) 平成28年2月 教員審査済(28)
				専	講師	藤原 理朗・	平成28年4月1日	臓器別がん治療各論		
専	教授	木下 博之	平成28年4月1日	法医学特論 死因究明技術の開発 課題研究						
専	教授	門脇 則光	平成28年4月1日	血液病学(血液・造血器・リン パ) 免疫・アレルギー疾患学 呼吸器病学 治療法概論 がんのベーシックサイエンス、 臨床薬理学 臓器別がん治療各論 課題研究						
専	教授	南野 哲男	平成28年4月1日	脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床 応用 腎・泌尿器病学 循環器病学 老年腫瘍学 課題研究						
専	准教授	大森 浩二	平成28年4月1日	脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床 応用 循環器病学	専	准教授	野間 貴久・	平成28年4月1日	脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床 応用 循環器病学	平成28年3月31日大森浩二准教授辞任 (未就任)のため担当教員の変更 (28) 平成28年2月 教員審査済(28) ※野間貴久講師 平成28年11月講師 から准教授へ昇任

専	教授	正木 勉	平成28年4月1日	医科学特論 癌とマイクロRNA 癌と遺伝子異常 消化器病学 がん疫学論 治療概論 臓器別がん治療各論 課題研究						
専	准教授	出口 一志	平成28年4月1日	癌とマイクロRNA 癌と遺伝子異常 神経病学 消化器病学 臓器別がん治療各論						
専	教授	窪田 泰夫	平成28年4月1日	医科学概論 臨床アウトカムとしてのQOL評 価の応用 臨床アウトカムとしての画像解 析システム 皮膚病学 課題研究						
専	教授	中村 祐	平成28年4月1日	睡眠（終夜脳波システム）の臨 床開発 認知症診断の技術研究 神経病学 精神病学 がん緩和治療 課題研究						
専	准教授	角 徳文	平成28年4月1日	睡眠（終夜脳波システム）の臨 床開発 認知症診断の技術研究 神経病学 精神病学 がん緩和治療						
専	教授	日下 隆	平成28年4月1日	医科学概論 医科学特論 発達神経科学 周産期の脳発達と子供の健康 高速液体クロマトグラフィーの 臨床応用 近赤外線分光法を用いた臨床研 究 小児科学 課題研究						
専	准教授	岡田 仁	平成28年4月1日	医科学概論 医科学特論 薬理学特論 高速液体クロマトグラフィーの 臨床応用 近赤外線分光法を用いた臨床研 究 小児科学						
専	教授	秦 利之	平成28年4月1日	医科学概論 母子周産期医学 課題研究						平成31年3月31日 退職（定年）予定 平成31年4月1日に専任教員を採用予定
専	准教授	田中 宏和	平成28年4月1日	母子周産期医学 臓器別がん治療各論	専	准教授	金西 賢治	平成29年4月1日	臓器別がん治療各論	指導体制充実のため担当教員の変更 (29) 平成29年2月 教員審査済(29)
専	教授	堀井 泰浩	平成28年4月1日	循環器病学 課題研究						
専	准教授	山下 洋一	平成28年4月1日	呼吸循環生理学 循環器病学						
専	教授	鈴木 康之	平成28年4月1日	消化器病学 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究						
専	教授	横見瀬 裕保	平成28年4月1日	医科学概論 医科学特論 呼吸器病学 治療概論 医療倫理学・医療経済学 臓器別がん治療各論 課題研究						
専	准教授	紺谷 桂一	平成28年4月1日	乳腺内分泌外科学 治療概論 臓器別がん治療各論						
専	教授	山本 哲司	平成28年4月1日	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 臨床検査、病理、放射線診断学 臓器別がん治療各論 課題研究						
専	准教授	真柴 賛	平成28年4月1日	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学	専	准教授	真柴 賛	平成28年4月1日	骨軟部腫瘍研究の臨床応用 運動器病学 形態機能学	平成28年9月30日田中嘉雄教授辞任に 伴う担当教員変更のため担当科目追 加(29) 平成29年2月 教員審査済(29)
専	教授	田中 嘉雄	平成28年4月1日	形成外科におけるバイオイメー ジング 医工融合による医療機器開発 形態機能学 課題研究	専	教授	永竿 智久	平成28年4月1日	形成外科におけるバイオイメー ジング 医工融合による医療機器開発 形態機能学 課題研究	
専	准教授	永竿 智久	平成28年4月1日	形成外科におけるバイオイメー ジング 医工融合による医療機器開発 形態機能学	専	准教授	久富 信之	平成28年4月1日	形成外科におけるバイオイメー ジング 医工融合による医療機器開発	平成28年9月30日田中嘉雄教授辞任に 伴う担当教員の変更のため(29) 永竿智久准教授 平成29年4月教授昇 任(29) 平成28年12月 教員審査済(29) ※計画中の専任教員の異動
専	教授	寛 善行	平成28年4月1日	医科学特論 前立腺がんの新規マーカーの開 発 低侵襲手術術式の開発 課題研究	専	准教授	真柴 賛	平成28年4月1日	形態機能学	
専	教授	田宮 隆	平成28年4月1日	脳神経外科学 課題研究						

専	准教授	三宅 啓介	平成28年4月1日	IPS細胞の応用 脳神経外科学 臓器別がん治療各論						
専	教授	辻川 明孝	平成28年4月1日	医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学 課題研究			後任未定			平成29年2月28日辻川明孝教授辞任のため、現在教授選考中
専	准教授	廣岡 一行	平成28年4月1日	医科学特論 神経保護薬の臨床開発 眼病学						
専	教授	星川 広史	平成28年4月1日	中耳・内耳バイオイメージング 希少糖医学 頭頸部病学 耳鼻咽喉疾患学 臓器別がん治療各論 課題研究						
専	准教授	宮下 武憲	平成28年4月1日	中耳・内耳バイオイメージング 頭頸部病学 耳鼻咽喉疾患学						
専	教授	西山 佳宏	平成28年4月1日	分子イメージングの臨床応用 放射線医学 検査、診断法概論 課題研究						
専	准教授	山本 由佳	平成28年4月1日	分子イメージングの臨床応用 放射線医学 臨床検査、病理、放射線診断学						
専	教授	白神 豪太郎	平成28年4月1日	痛み学 呼吸循環制御学 がん緩和治療 課題研究						
専	准教授	中條 浩介	平成28年4月1日	治療合併症、支持療法、緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療						
専	教授	黒田 泰弘	平成28年4月1日	救急・生体複製制御 災害医療・災害医学 救急救命医学 課題研究						
専	教授	三宅 実	平成28年4月1日	口腔病学 課題研究						
専	准教授	大林 由美子	平成28年4月1日	口腔病学						
専	教授	村尾 孝児	平成28年4月1日	医科学特論 希少糖科学特論 動脈硬化症への遺伝子治療 生活習慣病学 内分泌代謝学 糖尿病学 課題研究						
専	准教授	井町 仁美	平成28年4月1日	医科学特論 動脈硬化症への遺伝子治療 内分泌代謝学 糖尿病学 検査、診断法概論						
専	教授	辻 晃仁	平成28年4月1日	臨床研究論 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 臨床腫瘍学 課題研究						
専	准教授	久富 信之	平成28年4月1日	核医学画像解析 課題研究	専	准教授	久富 信之	平成28年4月1日	核医学画像解析 課題研究 形成外科におけるバイオイメージング 医工融合による医療機器開発	平成28年9月30日田中嘉雄教授辞任に伴う担当教員変更のため担当科目追加(29) 平成29年2月 教員審査済(29)
専	教授	和田 健司	平成28年4月1日	医用有機化学特論 医用分析化学特論 課題研究						
専	教授	山本 融	平成28年4月1日	医科学概論 神経細胞生物学特論 精神神経疾患の創薬科学 課題研究						
専	教授	岡田 宏基	平成28年4月1日	医学教育学特論 医療倫理 感染症学 血液病学(血液・造血器・リンパ) 課題研究						
専	准教授	西屋 克己	平成28年4月1日	医学教育学特論	専	准教授	坂東 修二	平成28年4月1日	医学教育学特論	平成29年3月31日西屋克己准教授辞任のため担当教員変更(29) 平成29年3月 教員審査済(29) ※計画中の専任教員の担当科目変更
専	講師	坂東 修二	平成28年4月1日	呼吸器病学 治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療 がんの心理社会的側面 医療対話学	専	准教授	坂東 修二	平成28年4月1日	医学教育学特論	坂東修二講師 平成29年5月准教授昇任(29)
					専	講師	呉 哲彦*	平成28年4月1日	呼吸器病学	平成29年3月31日 西屋克己准教授辞任のため担当科目追加(29) 平成29年3月 教員審査済(29)
					専	講師	今滝 修*	平成29年4月1日	治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療	平成29年5月1日坂東修二講師准教授昇任のため担当教員変更(29) 平成29年3月 教員審査済(29) ※今滝修講師及び加地良雄講師は、平成29年4月に新たに大学院担当とした。
					専	講師	加地 良雄*	平成29年4月1日	がんの心理社会的側面	
					専	講師	安藤 延男*	平成28年4月1日	医療対話学	

専	教授	舛形 尚	平成28年4月1日	地域医療学 がん疫学論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究							
専	准教授	岡野 圭一	平成28年4月1日	臓器別がん治療各論							
専	准教授	杉元 幹史	平成28年4月1日	腎・泌尿器病学 臓器別がん治療各論							
専	准教授	臼杵 尚志	平成28年4月1日	臓器別がん治療各論 がん緩和治療							
専	教授	柴田 徹	平成28年4月1日	治療法概論 放射線治療法 放射線腫瘍学 課題研究							
専	准教授	羽場 礼次	平成28年4月1日	病理診断学の臨床応用 検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学 課題研究							
専	教授	横井 英人	平成28年4月1日	医科学概論 医療対話学 医療情報学(腫瘍学における情報システム) 課題研究							
専	教授	芳地 一	平成28年4月1日	薬学 課題研究							
専	准教授	松原 修司	平成28年4月1日	高齢者医療学 がん緩和治療							
以下、再掲(開設(H28.4以降)後、医学部所属教員中新たに大学院担当教員とした者)上記では*で示す。											
						専	准教授	野間 貴久	平成28年4月1日	脂質異常症と心血管病 食塩感受性高血圧モデルの臨床 応用 循環器病学 循環生理シグナル伝達学	平成28年3月31日大森浩二准教授辞任(未就任)のため教員追加(28) ※平成28年11月 講師から准教授へ昇任 平成28年3月31日大森浩二准教授辞任のため担当科目追加(28) 平成28年2月 教員審査済(28) 平成29年3月31日五十嵐淳介准教授辞任のため担当科目追加(29) 平成29年2月 教員審査済(29)
						専	准教授	下野 隆一	平成29年4月1日	小児外科学 臨床栄養・微生物学 課題研究	教育課程充実のため科目(及び担当教員)の追加(29) 平成29年2月 教員審査済(29)
						専	准教授	金西 賢治	平成29年4月1日	臓器別がん治療各論	指導体制充実のため担当教員の追加(29) 平成29年2月 教員審査済(29) ※田中宏和准教授から担当変更
						専	講師	串田 吉生	平成28年4月1日	検査、診断法概論 臨床検査、病理、放射線診断学	指導体制充実のため教員追加(28) 平成28年2月 教員審査済(28) ※計画当初の科目担当千葉陽一講師から担当変更(28)
						専	講師	藤原 理朗	平成28年4月1日	臓器別がん治療各論	指導体制充実のため担当教員の追加(28) 平成28年2月 教員審査済(28) ※計画当初の科目担当依田健志講師から担当変更(28)
						専	講師	山上 有紀	平成28年4月1日	治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療	指導体制充実のため教員追加(28) 平成28年2月 教員審査済(28) ※計画当初の科目担当千葉陽一講師から担当変更(28)
						専	講師	安藤 延男	平成28年4月1日	睡眠(終脳波システム)の臨床 開発 認知症診断の技術研究 治療合併症、支持療法、緩和治療 がん緩和治療 医療対話学	指導体制充実のため担当教員の追加(28) ※計画当初の科目担当依田健志講師から担当変更(28) 平成28年2月 教員審査済(28) 平成29年5月1日坂東修二講師准教授昇任のため担当科目追加(29) 平成29年3月 教員審査済(29)
						専	講師	呉 哲彦	平成28年4月1日	臓器別がん治療各論 呼吸器病学	指導体制充実のため教員追加(28) ※計画当初の科目担当千葉陽一講師から担当変更(28) 平成28年2月 教員審査済(28) 平成29年5月1日坂東修二講師准教授昇任のため担当科目追加(29) 平成29年3月 教員審査済(29)
						専	講師	加地 良雄	平成29年4月1日	がんの心理社会的側面	平成29年5月1日坂東修二講師准教授昇任のため教員追加(29) 平成29年3月 教員審査済(29)
						専	講師	今滝 修	平成29年4月1日	治療法概論 治療合併症、支持療法、緩和治療 がんのベーシックサイエンス、 臨床薬理学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療	平成29年5月1日坂東修二講師准教授昇任のため教員追加(29) 平成29年3月 教員審査済(29)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の**就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成29年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(A-C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
30 名	20 名	30 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
44	35	3		82	43	34	9	0	86	44	34	9		87
(44)	(33)	(9)		(86)						[]	[Δ 1]	[6]	[]	[5]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
54	28	0			54	32	0			54	33	0		
(54)	(32)	()								[]	[5]	[]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	三宅 克也	選択	分子形態学特論	①	他大学への異動のため (28) (H28.3)	
			選択	組織細胞科学特論	①		
			選択	バイオイメージング技術の開発・応用	①		
2	准教授	大森 浩二	選択	脂質異常症と心血管病	①	他病院への異動のため (28) (H28.3)	
			選択	食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	①		
			選択	循環器病学	①		
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	6 科目	計	6 科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	田中 嘉雄	選択	形成外科におけるバイオイメージング	①	他病院へ移動のため辞任 (29) (H28.9)	
			選択	医工融合による医療機器開発	①		
			選択	形態機能学	①		
			必修	課題研究	①		
2	教授	辻川 明孝	必修	医科学特論	③	他大学へ異動のため辞任 (29) (H29.2)	
			選択	神経保護薬の臨床開発	③		
			選択	眼病学	③		
			必修	課題研究	③		
3	准教授	五十嵐淳介	必修	医科学特論	①	他大学へ異動のため辞任 (29) (H29.3)	
			選択	循環生理シグナル伝達学	①		
			選択	細胞シグナル伝達学に基づくトランスレショナルリサーチ	①		
4	准教授	西屋 克己	選択	医学教育学特論	①	他大学へ異動のため辞任 (29) (H29.3)	
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
4	人	必修	4 科目	必修	2 科目	必修	2 科目
		選択	8 科目	選択	6 科目	選択	2 科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	12 科目	計	8 科目	計	4 科目

※ただし、辻川明孝教授担当科目については、当該教員の後任は未充足にあるが、科目は同講座に所属する准教授が実施している。

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)			後任補充状況の集計(B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
6 人	必修	4 科目	必修	2 科目	必修	科目	必修	2 科目
	選択	14 科目	選択	12 科目	選択	科目	選択	2 科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	18 科目	計	14 科目	計	科目	計	4 科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員が辞任した場合でも、大学院としての組織及び各講座として教育体制の維持をしており、学生の履修等への影響はない。学生にはシラバス等にて周知している。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等〔該当なし〕

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<大学院医学系研究科 医学専攻（博士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>○ 履修方法・修了要件</p> <p>・従来の修了要件 専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。</p> <p>○ 科目分類の変更</p> <p>【放射線治療法】 がんプロフェッショナル養成科目群 がん専門共通科目</p>	<p>○ 履修方法・修了要件</p> <p>・変更内容・状況 がんプロフェッショナル養成コース選択者は、主科目(所属する科目群)において共通コアカリキュラム(4単位)とがん専門共通科目(4単位)の履修が必修であるため、主科目から履修科目(8単位)を選択する際に主指導教員の開講する科目を1科目以上含むことが困難なため、除外する。本修正により、学生の履修上の不利益を改めた。</p> <p>・新たな修了要件 専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む。但し、がんプロフェッショナル養成コースは除く。)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。</p> <p>○ 科目分類の変更</p> <p>コンソーシアムと調整を行って科目分類を変更する。</p> <p>【放射線治療法】 がんプロフェッショナル養成科目群 がん専門選択科目</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 医学部教育センター FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p> 平成28年4月11日開催 11名/13名</p> <p> 平成29年3月8日開催 10名/13名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p> 平成28年4月11日開催</p> <p> 議題1 FD委員会委員変更について</p> <p> 議題2 平成27年度FDおよび授業公開実施報告について</p> <p> 議題3 平成28年度FD実施計画(年間スケジュール)について</p> <p> その他</p> <p> 平成29年3月8日開催</p> <p> 議題1 FD委員会委員変更について</p> <p> 議題2 平成28年度FDおよび授業公開実施報告について</p> <p> 議題3 平成29年度FD実施計画(年間スケジュール)について</p> <p> その他</p>
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・大学連携バイオバックアッププロジェクト説明会 研究資源のバックアップとその支援について
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会 (年間4回)
- ・第2回香川大学ナースング・プロフェッショナル育成入試に向けての研修
- ・科研費獲得セミナー2016 『科研費獲得の方法とコツ』
- ・チュートリアル発表会
- ・第3回香川大学ナースング・プロフェッショナル育成入試に向けての研修
- ・医学部学生へのプロフェッショナルリズムの教授法について
- ・移植医療に関する院内研修会の開催について「小児の臓器移植・提供の現状と課題」
- ・医学部学生へのプロフェッショナルリズムの教授法について(ビデオ上映)
- ・個人情報保護について
- ・ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会 教育訓練講習会
- ・香川大学の障がい学生支援の現状と課題
- ・『女性研究者研究活動支援事業』研究力伸長セミナー
- ・医学教育に関するFD 『新しいe-Portfolio「Web Class」の導入とその利用方法』
『医学教育分野別認証評価の今後の課題について』
- ・大学教育におけるチュートリアル(PBL)教育に関する講演会

b 実施方法 講演会形式

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・大学連携バイオバックアッププロジェクト説明会 研究資源のバックアップとその支援について 5月26日 10人
- ・倫理委員会教育訓練講習会(年4回開催)
第1回 6月6日 447人 第2回 10月17日 235人 第3回 1月16日 219人 第4回 3月6日 190人
- ・第2回香川大学ナースング・プロフェッショナル育成入試に向けての研修 6月28日 20人
- ・科研費獲得セミナー2016 『科研費獲得の方法とコツ』 7月4日 201人
- ・チュートリアル発表会 7月6日 20人
- ・第3回香川大学ナースング・プロフェッショナル育成入試に向けての研修 8月5日 20人
- ・医学部学生へのプロフェッショナルリズムの教授法について 9月29日 86人
- ・移植医療に関する院内研修会の開催について「小児の臓器移植・提供の現状と課題」 10月6日 120人
- ・医学部学生へのプロフェッショナルリズムの教授法について(ビデオ上映) 10月11日 11人
- ・個人情報保護について 10月27日 158人
- ・ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会教育訓練講習会 11月28日 84人
- ・香川大学の障がい学生支援の現状と課題 12月15日 91人
- ・『女性研究者研究活動支援事業』研究力伸長セミナー 2月1日 10人
- ・医学教育に関するFD 『新しいe-Portfolio「Web Class」の導入とその利用方法』 3月10日 87人
『医学教育分野別認証評価の今後の課題について』
- ・大学教育におけるチュートリアル(PBL)教育に関する講演会 3月21日 27人

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

博士課程に於いては、教員の資質向上のため、年間を通じて多様な分野・領域からの講習会を開催した。いずれの講習会も、博士課程を担当する教員としての責務の再確認に有益だけでなく、医学系大学院教育の基盤を拡充させる新たな取り組み等を啓発する内容である。特に医学・生命倫理に関する(ゲノム・遺伝子解析分野を含む)講習会では、全6回で延べ1300人(病院職員含む)を超え、当該分野への意識の高さが伺われると同時に大学院教育の質の向上に寄与していると考えられる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 卒業時

b 教員や学生への公開状況、方法等

未公開

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

従来の3専攻16部門を1専攻2コースにするなどの改組を行い、平成28年度より実施している。改組後の体制では、大学院修了後の進路の多様性に対応することを可能とし、基礎研究者、橋渡し研究者、高度ながん診療エキスパートの養成等、修了後の進路を見据えて設定した各コースに所属する学生を受け入れた。

開設時の准教授2名の未就任等、教員組織の整備に一部滞りが見られたが、講師の追加・後任補充計画の立案等により教育課程の維持・推進には支障を来さぬようにした。

定員については、今年度23名と入学定員30名を下回る結果となったため、次年度については定員充足を目指す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・年次進行終了後の平成33年度に自己点検評価（大学全体）を実施・公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成34年度に機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 8月 1日)